

たかやましポ



#火焔そばを全戸に贈呈！



5月18日(月)、NPO法人ワイ・アイ・ケー^{なかだなおたろう}中田直太郎理事長より、高根地区町内会連絡協議会^{もりもときくお}森本喜久男会長に特産の「火焔そば」が贈られました。

外出自粛が続く中、「住民に地元の特産品を味わってもらい、少しでも元気になってもらいたい」との思いから、各家庭2束(1束250g)、157世帯分に贈呈。森本会長は、「高根町の特産である「火焔そば」を実際に味わっていただく貴重な機会にもなり、この度のお心遣いに感謝します。喜んで、皆さんに配布させていただきます」と話されました。

#日本初の2階建てゴンドラ引退



5月26日(火)、新穂高ロープウェイで活躍していた日本初の2階建てゴンドラが引退しました。

1998年の運行開始から22年。地球約11周分の44万8000キロを移動し、898万6000人の観光客や登山客を運びました。

新穂高ロープウェイは今年開業50周年を迎えることから、その節目として、新しく生まれ変わるとのことです。ばんりゅう号、ウェストン号、長い間お疲れ様でした。みんなに素敵な世界を見せてくれてありがとう！

#県内初 コロナ対策を踏まえた避難所開設訓練



新型コロナウイルス感染症のおそれがある中で、災害が発生し避難所に避難する場合には、感染症対策に万全を期すことが重要です。

5月28日(木)、県と市は、飛騨高山ビッグアリーナにおいて、感染症対策を踏まえた避難所開設訓練を行いました。飛騨県事務所や飛騨保健所、地域の防災士など約50人が参加し、避難所に入る前に体調確認を行う事前受付や、体調不良のある避難者を専用のスペースに誘導するなど、感染症対策を行いながら開設・運営時のポイントについて検証しました。

この訓練での課題や改善点をまとめ、市の避難所運営マニュアル「感染症対策編」に反映していきます。

#学校運営協議会「宮っ子育む会」



6月1日(月)より、一之宮地区で地域学校協働活動「宮っ子応援サポーター」活動がはじまりました。

この事業は今年度から始まった「学校運営協議会(コミュニティスクール)」の地域学校協働活動の一環です。学校運営協議会の方が、宮小学校と宮中学校で登校時の感染防止対策のサポートや、校内の消毒をされています。

「地域で子どもたちを育てる」という地域の皆さんの温かい気持ちで、支えあいの輪を広げています。